

U N I C E F A I C H I



unicef  for every child

(公財)日本ユニセフ協会協定地域組織／愛知県ユニセフ協会
〒464-0824 愛知県名古屋千種区稲舟通1-39
生協生活文化会館 2階(コープ本山2階)
☎ 052(783)7230 FAX 052(781)7191



ユニセフへの思い

かけがえのない 「全世界の良心」

愛知県ユニセフ協会 副会長・理事
愛知県立大学 学長 **川畑 博昭**



みなさまにおかれましては、2025年を健やかにお迎えになったことと願っております。

先日、海外のある新聞記事が目にとまりました。スペイン出身の記者はアフガニスタンのユニセフ協会の多大な協力を得て現地に入り、タリバン政権復活後4年近くの状況を現地の人びとの声を丹念に拾い、教育や社会進出を禁じられた女の子や大人の女性に焦点を当てて、詳しく報じていました。

そこには恐怖や絶望が社会を包み込むような過酷な現実がありました。

そんななかでこの新聞記者は、ユニセフが掲げてきた普遍的な使命とは、「子どもやその母親たちにとって『全世界の良心』であること」と書いていました。ユニセフをこう表現した記者の感性に唸りました。設立から80年、ユニセフによって救われ、生きる力を与えられた子どもや母親たちは世界中にいます。日本も敗戦から20年間、支援を受けた国でした。

私たちが住むこの地にも2年前に「全世界の良心」が届きました。愛知県ユニセフ協会——私もこの団体に関りをもつ一人として、これからも自分なりのやり方で、このかけがえのない「全世界の良心」を理解し大切に作る仲間をふやしていくつもりです。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

ユニセフの人権講演会を聞いた皆さんからの声を紹介します



名古屋市立城山中学校

安心できる生活環境
安心できる生活や環境があると、不安や恐怖を少しでもやわらげて、しっかり行動して未来につながると思っているから。

生きがい
どこにいる子どもも生きていて楽しいと思えるような人生にしたいから。

栄養・教育 栄養不良により5歳未満で命を落とす人が世界中にたくさんいる。栄養を与えて生存できるようにすることで、まず「生きる・育つ権利」は守れ、生きることでその後のチャンスが広がる。広がったチャンスを確実なものにするために教育が必要だから。

選択肢 どのように生きるかを選択する権利は全ての人にあると思ったから。

平等な機会
結果を平等にできないけれど機会は平等にすることが唯一できることだと思ったから。

名古屋市立東星中学校

戦争のないすべての人が互いの幸せのために行動できる世界
貧困・飢餓などすべての子どもにとって苦しいことは戦争、又は自然環境の破壊からきていると考えたため。

青空 すべての子どもが空を見てゆっくりする時間があつたらいいな。

本当の権利
すべての国で認められている子どもの権利に差が生まれているのはおかしいと考えたから。

安心してきて幸せを感じられる生活 争いや病気を恐れずに暮らせる毎日がすべての子どもにあると思うから。またみんなに人権があるから。

愛情 家庭であまり子どもらしいことをさせられない国があるから、誰にでも愛される権利がある。

団体賛助会員の紹介

愛知県ユニセフ協会の活動を支援していただいている企業・団体の皆さまの
世界の子どもたちに向けた想いやユニセフへのエールをご紹介します。



株式会社 デリーファーム

●私ども株式会社デリーファームは、「たまごで人をしあわせに」を理念に創業98年を迎え、たまごづくりを基盤に直売店や農家レストラン「ココテラスの丘」を運営し、地域の皆さまの暮らしに寄り添う事業を展開しています。



●安心安全で美味しいたまごの提供はもちろんのこと、地元農家と連携した飼料米を活用する循環型農業を推進。2024年にはアニマルウェルフェアを重視した放牧農場を開設し、命の尊厳に向き合った取り組みを進めています。「おいしい放牧米たまご」は、しあわせな鶏たちが産む自慢の一品です。

●さらに、学校へのお出前授業や中学生とのスイーツ商品開発を通じて、食や農業の重要性を伝え、自然豊かな地元を好きになってもらいたいとの思いで活動を展開。次世代育成のお手伝いをさせていただいております。

●愛知県ユニセフ協会の理念は、「地域や農業をてらす」存在になれますようにとネーミングしたココテラスの丘の想いに通じます。ユニセフの「未来をてらす」活動をこれからも応援してまいります。

Showwa 株式会社昭和



●私たちは、地域の食卓に安全で安心な食材を毎日お届けすることで、豊かな食文化を未来へと繋ぎ、日々の暮らしを支える存在でありたいと考えています。

●私たちは昭和25年、塩干仲買業として創業以来、水産事業を中核に総合食料品卸売業として展開してまいりました。しかし、近年、日本では一人当たりの魚介類の消費量が減少し、「魚離れ」とも呼ばれる状況が進行しています。魚介類は日本の食文化に深く根ざし、古くから親しまれてきた存在で、成長期の子どもの健康と発育を支える理想的な食材です。だからこそ、私たちは魚をもっと身近に感じていただき、日々の食卓に取り入れていただけるよう、さまざまな取り組みを行っています。

●「骨のある食育®」をスローガンに掲げ、未来を担う子どもたちとその保護者を対象とした親子お魚教室など、魚の魅力を伝えるイベントを開催。また、管理栄養士を中心とした商品開発チーム「レミフィッシュ～Let's eat more fish!～」では、手軽でおいしい魚料理を実現する商品を開発しています。これらの活動は、食を通じて人々の健康と幸福を支えたいという私たちの想いに根ざしており、その理念はユニセフの活動方針とも響き合っています。“楽しくなると、おいしくなる”そんな信念のもと、笑顔あふれる食卓づくりを目指し、これからも地域と共に、安全で安心な食材をお届けしてまいります。

愛知労済

愛知県労働者共済 生活協同組合(愛知労済)

●私たち愛知労済は、労働者の社会保障制度がまだまだ不十分な時代だった1958年(昭和33年)4月に、相互扶助助け合いの精神にもとづいて、火災に見舞われた方の生活を支える火災共済からその事業を開始しました。



●全国組織である全国労働者共済生活協同組合連合会(愛称:こくみん共済 coop)が設立され、愛知労済においても組合員の皆さまにより大きな安心をお届けするために2000年(平成12年)6月に全国組織へ参画し、こくみん共済 coop の共済制度を皆さまの幸せにお役立ていただくべく推進しています。

●社会課題解決に向けた取組みとして横断旗の寄贈、フードバンクや県の基金等への寄付、防災イベントの開催といった社会貢献活動も開催し、子供たちや地域の皆さまの幸せのお役立ちへ繋げてまいります。



南医療生活協同組合

●1959年9月26日、伊勢湾台風の被災で名古屋市南部を中心に5000名以上の死者と30万人を超える被災者が出ました。全国から医師・看護師・医療スタッフが救援活動に駆けつけてくれたことをきっかけに地域住民による小さな診療所づくりがはじまり、1961年11月12日に南医療生活協同組合が308名の組合員で設立されました。



●「みんなちがってみんないい ひとりひとりのいのち輝くまちづくり」を基本理念に、2024年11月末日現在、愛知県下に98,000名を超える組合員、64事業所を展開する医療・介護・福祉・健康づくり・まちづくりをすすめる生活協同組合となりました。また、困ったときはおたがいさまの精神で、くらしのたすけあい、ささえあいの活動として「おたがいさま運動」に取り組んでいます。

●私たちはユニセフのすべての子どもの命と権利を守るための取り組みに賛同し、「できるときに、できること」をおたがいさまの精神で愛知県ユニセフ協会とすすめていきたいと考えています。

バンテリンドーム
連絡通路

* 12月3日(火) *



大学生協東海ブロックからの大学生や一般のボランティアにご協力いただきました。バンテリンドームでイベントがある日で、「少しだけ頑張っ！」と声かけくださる方、子どもにお金を渡して募金くださるお母さまなど、多くの皆さまの笑顔と温かいお気持ちに触られました。



フレンド
ネーション

FriendNation
for unicef

* 11月1日～12月31日 *



フレンドネーション(オンライン募金)にも取り組み、募金場所に来られない方々からも、温かいコメントとご寄付をいただくことができました。

愛知県ユニセフ協会主催

Hand in Hand

ユニセフ ハンド・イン・ハンド

募金活動報告

2024年度のテーマ

— 子どもたちの健やかな成長を守ろう —

今回初めて愛知県ユニセフ協会主催で、県内3か所にてハンド・イン・ハンド募金を開催しました。

どの日も冷たい風が吹く寒い中でしたが、高校生、大学生、一般のボランティアの皆さまにご協力いただき、たくさん募金が集まりました。「寒いのご苦労さま」「頑張っね」「少しだけ子どもたちに」など、多くの方々から温かいお声もいただきました。ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金にご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。当日の様子をご紹介します。

一宮駅前ビル
1階コンコース

* 12月14日(土) *



一宮生活協同組合の理事長はじめ役員・理事の皆さまや、愛知県立津島東高等学校の生徒の皆さまにご協力いただきました。

一宮駅前のコンコースを歩き交う方々に、大人も生徒も一丸となって大きな声でユニセフ募金の呼びかけを行いました。校長先生も駆けつけてくださり、掛け声に一層力が入りました。



豊橋駅周辺

* 12月15日(日) *



学校法人桜丘学園 桜丘高等学校ボランティア部の生徒の皆さまにご協力いただきました。事前にユニセフ学習会と子どもの安全保護研修を学校にて一斉に受講いただいたの募金活動です。豊橋駅東口連絡通路、西口、精文館前の4か所に分かれて行いました。多くの方々から励ましのお言葉と募金をいただくことができました。

イベント

バンテリンドーム連絡
通路(ペDESTリアンデッキ)にて愛知県ユ
ニセフ協会主催の募金活動を行いました

8月18日(日)バンテリンドーム連絡通路(ペDESTリアンデッキ)にて愛知県ユニセフ協会主催の募金活動を行いました。今回は夏休みということもあり小学生から高校生・大学生の皆さんが参加し元気にユニセフ募金の呼びかけをしました。小学生の娘さんと一緒に参加されたお父様からは「人の優しさに触れ、また奉仕をする人の存在・姿に感銘を受けているようでした」とのコメントをいただきました。

金城学院幼稚園 父母の会バザーに
ブース出展しました

9月14日(土)金城学院幼稚園父母の会バザーにブース出展しました。親御さんに寄り添い恥ずかしがっているお子さんがネパールの水がめに興味津々など、約100名の方に水がめの重さクイズに挑戦いただきました。多くの方々に世界の水と衛生の問題や子どもたちの現状を知っていただくことができました。また、温かい善意もお寄せいただきました。

第55回大府市産業文化まつりに
ブース出展しました

10月26日(土)27日(日)メディアス体育館おおぶで開催された「第55回大府市産業文化まつり」にブース出展しました。ユニセフブースにも100人を超える多くの皆さまにお立ち寄りいただきました。学生や家族連れなど様々な方々にユニセフクイズに挑戦いただき、世界の子どもたちの状況やユニセフの支援について熱心に耳を傾けてくださいました。多くの皆さまから温かい善意もお寄せいただきました。

名古屋市立大学 市大祭に
ブース出展しました

11月9日(土)名古屋市立大学滝子キャンパスで開催された「市大祭」にブース出展しました。そてつ食堂のユニセフコーナーにも100名を超える多くの方が立ち寄られ、ユニセフクイズに挑戦してくださいました。また、ガザやウクライナの写真パネルにも視線を向けられ、紛争下の子どもたちの現状を案じられる方々も多くいらっしゃいました。学生やご家族連れの皆さまにユニセフの活動を広く知っていただくことができ、温かいご寄付もお寄せいただきました。

「あいち国際女性映画祭」の期間中、
ウイルあいちにブース出展しました

9月5日(木)～8日(日)の間、あいち男女共同参画財団主催の「あいち国際女性映画祭」の開催期間に合わせて、ウイルあいちにブース出展しました。静かにパネルを見入る方々や、小学生の子どもたちが立ち寄って実際に現地で使われている上腕計測メジャー(栄養状態を測るもの)で腕の周りを測ってみたりパネルの説明を熱心に聞いてくれるなど、大人から子どもまで幅広い方々にユニセフを知っていただく機会となりました。

金城学院大学 金城祭に
ブース出展しました

10月19日(土)金城学院大学学祭にブース出展しました。一日を通して多くの方々にユニセフクイズに参加いただきました。ネパールの水がめ持ち上げ体験ではその重さに大変驚かれ、この水運びが子どもたちの仕事ということに更に驚かれていました。ユニセフブースにもお子さま連れのご家族や学生の皆さんたくさんの方にお立ち寄りいただきました。世界の子どもの現状を知り、温かいご寄付もお寄せいただきました。

THE FUTURE IN THEIR HANDS/「子どもの権利」
セミナー～未来は子どもたちの手に～が開催されました

10月30日(水)名古屋大学国際開発研究科8階オーディトリウムにて、在日インドネシア留学生中部支部主催、愛知県ユニセフ協会共催「『子どもの権利』セミナー～未来は子どもたちの手に～ウクライナやインドネシアの経験、日本のとりくみ、国内外の子どもたちの声から学ぶ～」が開催されました。愛知県ユニセフ協会から提供したユニセフクイズにも、写真パネルや支援物資のコーナーに多くの方がお立ち寄りくださり、温かい交流ができました。

'24年度ハンド・イン・ハンド募金活動第1弾開催!
バンテリンドーム連絡通路(ペDESTリアンデッキ)にて

12月3日(火)バンテリンドーム連絡通路(ペDESTリアンデッキ)にて、愛知県ユニセフ協会主催のハンド・イン・ハンド募金活動第1弾を行いました。大学生と一般のボランティアの皆さんが参加し元気にユニセフ募金の呼びかけをしました。ユニセフの「ハンド・イン・ハンド募金」のノボリを目にされ、「少しでも頑張ってください」と声かけしてくださる方、子どもにお金を渡して募金して下さるお母さまなど、温かいお気持ちを寄せてくださる多くの方々にお立ち寄りいただきました。



大学生協東海ブロックフェスティバル2024にブース出展しました

12月7日(土)名古屋大学南部食堂にて、大学生協東海ブロックフェスティバル2024が開催され、ブース出展しました。100人以上の多くの皆さまにお立寄りいただき、「ユニセフクイズにチャレンジ!!」で真剣に解答を考えてくださいました。クイズにチャレンジ後は「すべての子どもに〇〇を」と「それを実現するために自分たちにできること」のメッセージを付箋に書いてもらい、願いの木として貼りだしたクリスマスツリーを彩っていただきました。皆さまの温かさや優しさを感じました。心のこもった善意もお寄せいただきました。



'24年度ハンド・イン・ハンド募金活動第2弾開催！一宮駅前ビル1階コンコースにて

12月14日(土)一宮駅前ビル1階コンコースにて、愛知県ユニセフ協会主催のハンド・イン・ハンド募金活動第2弾を行いました。コンコースを歩き交う方々にユニセフハンド・イン・ハンド募金の呼びかけをしました。一宮生協からは船橋理事長はじめ役員や理事の皆さんに、高校生では愛知県立津島東高等学校からボランティア部の生徒さん方が顧問の先生と一緒にご参加いただくなど、たくさんの方々のご協力をいただきました。多くの皆さまから温かい善意をお寄せいただきました。



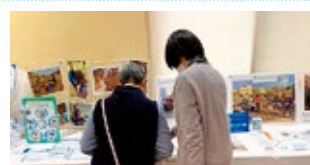
'24年度ハンド・イン・ハンド募金活動第3弾開催！豊橋駅周辺にて

12月15日(日)豊橋駅周辺にて、愛知県ユニセフ協会主催のハンド・イン・ハンド募金活動第3弾を行いました。今年一番の寒さの中、桜丘高等学校の生徒さん18名が豊橋駅周辺の4か所で、元気よくユニセフハンド・イン・ハンド募金のお手伝いをしてくださいました。年の瀬の寒風吹きすさぶ中でしたが、たいへん多くの皆さまから励ましのお言葉と善意をいただくことができました。



安城市「地域ふれあいサークルかんらんしゃ」の皆さまからご寄付をいただきました

12月16日(月)本山事務所にて、安城市の「地域ふれあいサークルかんらんしゃ」の皆さまよりご寄付をいただきました。ふれあいサークルかんらんしゃサロンにユニセフ募金箱を置き、この一年参加者の皆さまから寄せられた募金をお持ちいただきました。代表の方が、ユニセフ基礎講座のご受講と展示ルームでの支援物資や写真パネルの見学をされ、「一人の力は小さいけれど、皆で繋がって支援を続けていきますね」とお話しいただきました。



金城学院幼稚園 クリスマス親子礼拝にブース出展しました

12月21日(土)金城学院幼稚園クリスマス親子礼拝にブース出展しました。アニー・ランドルフ記念講堂にて、「すべての子どもに〇〇を」の願いのツリーを設置し、参加された皆さまに「〇〇」に当てはまる言葉の付せんを貼り付けていただきました。親御さんや兄弟などに聞いたりしながら自分で「これ!」と選んで楽しそうに貼り付けている姿が印象的でした。「お菓子をあげたい!」という子や、「ご飯が一番大事だよ」と話しかけてくださるお母さまなど、多くの方々にお立寄りいただき会場全体が温かい雰囲気になりました。たくさんの善意もお寄せいただきました。



講師学習会

10月27日(日)本山展示ルームにて講師学習会を開催しました。パワーポイントに合わせて基本講座の読み合わせを行いました。意見交流では、子どもができる支援活動として“ユニセフ講座で聴いてもらった世界の子どもたちの状況やユニセフの活動などを、お友達や家族など周囲に話して広めてもらうことも立派な支援活動です”ということ呼びかけていきたいと思います。話し合いました。



学習会

愛西市立市江小学校6年生出前学習会を開催しました

9月12日(木)愛西市立市江小学校にて、6年生37名の児童の皆さんにユニセフ出前授業を行いました。2つの教室を使い、最初に全員にユニセフ基礎講座とSDGsについて大切な考え方を説明したあと、2つの教室を回るグループワークとして、『水と衛生』『教育』を、体験を交えながら参加型で行いました。最後は「すべての子どもに〇〇を」を出し合い、自分たちに何ができるのか発表し合いました。「食料と水」「同じ権利」「富と自由」など発想豊かな発言がたくさん出され、「募金活動がしたい」「プランピーナッツはどうやって作るのか」などの質問もあり、できることを即行動に移したい熱い思いが伝わってきました。



愛知県立惟信高等学校2年生学習会を開催しました

9月17日(火)愛知県立惟信高等学校2年生の生徒の皆さん5名が、本山事務所でのユニセフ学習会に来訪されました。ユニセフ基礎講座を視聴いただいた後展示ルームを見学し、感想交流を行いました。児童労働をさせられている子どもたちに「希望」を持ってほしい、すべての子どもたちに「平等なくらし」をしてほしい、「自由な時間」を持ってほしいなどの意見が出され、今後に向けては、現地の子どもたちと触れ合いたい、感謝して募金したいと抱負を語っていただきました。



本山にて

犬山市立南部中学校1年生 学習会を開催しました

本山にて

10月24日(木) 犬山市立南部中学校1年生の皆さん20名が、名古屋分散学習の一環として本山展示ルームでのユニセフ学習会に来訪されました。皆さん真剣に基礎講座を聴き、本山展示ルームでしか見られないSDGs立体パネルの説明を聴いたり、実際に現地で使われている支援物資を手にとって見て質問をしたり写真を撮ったりして熱心に学習されました。子どもの権利について知り、世界には子どもの権利が守られず厳しい環境に置かれている子どもがたくさんいることや水の大切さを学ぶことで、自分たちに何ができるのかを考えるキッカケになったようです。



愛知工業大学1年生 学習会を開催しました

本山にて

10月29日(火) 愛知工業大学1年生の方々がユニセフ学習会に来訪されました。基礎講座の後、展示ルームにて実際に現地で使われている支援物資を手にとって試したり説明を聴いたりして学習されました。大学にてSDGs目標16「平和と公正をすべてに人に」について調べプレゼンする研修の一環として、世界には子どもの権利が守られず厳しい環境に置かれている子どもたちや水の大切さ、それらに対して行っているユニセフの支援などについて意見交換しました。



犬山市立城東中学校1年生 学習会を開催しました

本山にて

11月1日(金) 犬山市立城東中学校1年生の皆さん5名が、「総合的な学習」の一環として本山展示ルームでのユニセフ学習会に来訪されました。基礎講座を聴き、展示ルームではユニセフとSDGsの関係が分かるパネルの説明を聴いたり、実際に現地で使われている支援物資を手にとって見て質問をしたり写真を撮ったりして熱心に学習されました。子どもの権利について知り、世界には子どもの権利が守られず厳しい環境に置かれている子どもがたくさんいることや水の大切さを学ぶことで、自分たちにできることを考えるキッカケになったようです。



学校法人桜丘学園 桜丘高等学校ボラン ティア部 出前学習会を開催しました

11月5日(火) 桜丘高等学校にて、ボランティア部の皆さん17名にユニセフ出前学習会・子どもの安全保護研修(チャイルドセーフガーディング)を開催しました。ユニセフ基礎講座をパワーポイントを使って説明したあと、子どもの安全保護研修一斉受講を行いました。12月に豊橋駅にて開催予定のユニセフハンド・イン・ハンド募金活動に同校ボランティア部の皆さんにご協力いただく前の事前学習として、子どもの権利・世界の子どもの状況・ユニセフの支援などについて学習していただきました。顧問の先生も一緒に参加され、皆さんが終始熱心に耳を傾けてくださいました。



岩倉市立曾野小学校6年生 出前学習会を開催しました

11月8日(金) 岩倉市立曾野小学校にて、6年生73名の児童の皆さんにユニセフ出前学習会を行いました。ホールにて、ユニセフ基礎講座を子どもの権利に触れながらパワーポイントを使ってお話ししました。皆さんが真剣な眼差しで話を聴きながらメモを取り、問いかけにも元気よく答えるなど積極的に参加してくださいました。上腕計測メジャーで腕の周りを測る実演では、自分の腕の太さとマリアジョンちゃんの「9センチ」という細さの違いに衝撃を受けたようでした。



名古屋大学教育学部附属中学校2年生 学習会を開催しました

本山にて

11月18日(月) 名古屋大学教育学部附属中学校2年生の皆さん8名が、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)プログラムの一環(STEAM1)として行われている総合学習として、「生命と環境」についての学習のために、本山展示ルームでのユニセフ学習会に来訪されました。ユニセフ基礎講座を聴き、本山展示ルームに展示されている写真パネルや実際に現地で使われている支援物資を手にとって見て質問をし、体験するなどの学習をしました。質疑応答では事前に丹念に調べ学習をされておられた中から、「飢餓問題の解決が進みにくい理由」や「飢餓解決への支援で自分たちが直接的にできること」など率直な質問が相次ぎ、皆が協力し合って取り組むことが大切など活発な意見交換の場になりました。



津島市立蛭間小学校4年生 出前学習会(キャリア教育)を開催しました

12月10日(火) 津島市立蛭間小学校、4年生47名の児童の皆さんにユニセフ出前学習会を行いました。4年1組と2組のそれぞれの教室で、担任の先生の道徳の授業とキャリア教育を含めたユニセフ基礎講座の授業を交代で行いました。皆さんが真剣な眼差しで話を聴きながらメモを取り、問いかけにも元気よく手を挙げて答えるなど積極的に参加してくださいました。キャリア教育の時間では、ユニセフで仕事をするために必要な資格や世界で活躍している日本人、今から心がけることなどを紹介しましたが、皆さんがとても興味をもったようでした。



愛知工業大学名電中学校2年生 出前学習会を開催しました

12月12日(木) 愛知工業大学名電中学校にて、2年生106名の生徒の皆さんにユニセフ出前授業を行いました。体育館にて、最初に全員にユニセフ基礎講座と子どもの権利条約について説明したあと、3つのブースを回るグループワークを行いました。『教育』『水と衛生』『児童労働(子どもの権利)』について、体験を交えながら自分ごとに引き寄せて自ら行動に移せるよう参加型で行いました。最後は「すべての子どもに〇〇を」について発表いただきました。



生活協同組合コープあいち名東センターにて出前学習会を開催しました

12月20日(金)生活協同組合コープあいち名東センターにて、尾張東ブロックのサポーターの皆さんに出前学習会を行いました。生協とユニセフの関係について、すでに100年前の1924年に賀川豊彦が「6つの子どもの権利」を提唱し、世界子供白書2000年版で、世界の子どもの最善の利益を守る50名に日本人として唯一選出されていたことや、愛知県ユニセフ協会設立に向けてコープあいちが中心となってすすめた経緯などを紹介し、次にユニセフ基礎講座をスライドを使って説明しました。質疑応答では、幅広く活発な話し合いができました。



ガールスカウト愛知県第23団(愛西市)出前学習会とハンド・イン・ハンド募金活動に参加しました

12月22日(日)愛西市文化会館にてガールスカウト愛知第23団の皆さんに出前学習会を行いました。9名の皆さんにスライドを使いユニセフ基礎講座をお話しました。世界の子どもたちの現状を聞き、実際に上腕計測メジャーで自分の腕を測ってみたり、栄養治療食(プランピーナッツ)を触り、募金活動で集めたお金がどう使われるのかを知り、自分たちにできることを話し合いました。学習会後は近くのスーパーに行き、店頭にてハンド・イン・ハンド募金活動を行いました。たくさんの方々から募金をお寄せいただきました。



講演会

名古屋市立城山中学校にて人権講演会を行いました

11月26日(火)名古屋市立城山中学にて、全校生徒544人の皆さんに人権講演会を行いました。講演では世界の子どもの状況やユニセフ活動について紹介し、人権や子どもの権利条約についてスライドを使って説明しました。講演後、代表生徒が「すべての子どもに〇〇を」を発表しましたが、生徒からは「平等な機会」「選択肢」「平和・学び・食事」などが出されました。この言葉が実現する社会になるために、「意識して生活し、平和を共有する」「将来の可能性を考える」など将来の職業にまでつなげて、しっかりと自分事として考えられた生徒が多く感銘を受けました。



名古屋市立東星中学校にて人権講演会を行いました

11月29日(金)名古屋市立東星中学にて、全校生徒515人の皆さんに人権講演会を行いました。講演後、生徒の皆さんから出された「すべての子どもに〇〇を」の中では、「安心して幸せを感じられる生活(争いや病気などを恐れずに暮らせる毎日がすべての子にあるといいと思うから、またみんなに人権があるから)」などがありました。この言葉が実現する社会になるために、「せっかく勉強ができる環境なので、しっかり学んで未来で役に立つ人間になる」「人権が守られない子どもたちがいることを忘れない」など、どの学年も自分事として考えられた生徒が多かったのが印象的でした。



お知らせ ユニセフの輪が広がっています

株式会社みらいホールディングスの皆さんから募金をご寄付いただきました

11月13日(水)生協生活文化会館にて募金の贈呈式を行いました。みらいホールディングス様では長期ビジョンとしてPEACEとHAPPYの実現の取組み一つとして全社交流と健康維持・増進を兼ねてチャリティウォーキングイベントを開催されました。“みんなの1歩が世界で困っている子どもたちを救う！”を合言葉に、磯部社長様自らも積極的に歩かれ全社平均歩数の向上に貢献されたようでした。



未使用切手・はがきのご寄付が増えています



お金でのご寄付の他に、物品(未使用切手・はがき等)によるご寄付があります。趣味で集めていた切手や未使用のはがき等がお家で眠っていませんか、当協会にお送りください。少なくとも古くても構いません。集めて業者にて換金し、募金として世界の子どもの支援に活用します。お問合せは当協会までお気軽に！

5月～9月 イベント information ※詳細はHPにてお知らせします。たくさんの方のご参加をお待ちしています！

「愛知県ユニセフ協会主催 バンテリンドーム募金活動」

日時：5月6日(火)
11時30分～13時(予定)
場所：バンテリンドーム連絡通路

「ユニセフ親善大使アグネス・チャンのキリバス視察パネル展」 潮とともに生きる ～アグネス大使とみたキリバス気候変動の現状～

日時：パネル展 7月31日(木)～8月7日(木) 10時～16時(予定) 場所：パネル展 動画上映
(8月2日(土)、8月6日(水)はお休み) 愛知県ユニセフ協会
本山展示ルーム
動画上映 上記の日程の中の、
10:30～、11:30～、13:30～、14:30～、15:30～
(上映時間約18分)

「笑顔つながる ユニセフあいちin大府市」 大府市の学生が考える「子どもの権利」 ～誰一人取り残されない社会をめざして～

日時：5月31日(土)
10時～15時30分(予定)
場所：おおぶ文化交流の杜allobu

「インドネシアday」 インドネシアの伝統楽器「アングロン」の演奏体験 を通じて、多様性と共生を学ぼう！楽しもう！

日時：8月3日(日) 13時～16時(予定)
場所：コープあいち生協生活文化会館4階ホール
(本店4階ホール)

ユニセフ企画展 「Poems for peace～平和の詩～」 紛争下の子どもたちが綴る平和の思い

日時：9月中旬(予定)
(あいち国際女性映画祭期間中)
場所：ウィルあいち(予定)

愛知県ユニセフ協会 顧問・役員・評議員紹介 (第2期) 敬称略

顧問	大村 秀章	愛知県知事	理事	藤井 雅文	愛知県生活協同組合連合会 専務理事
顧問	広沢 一郎	名古屋市長	理事	船橋 拓行	一宮生活協同組合 理事長
会長・理事	杉山 直	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学 総長	理事	尾関 俊紀	みなと医療生活協同組合 理事長
副会長・理事	浅井 清文	公立大学法人名古屋市立大学 学長	理事	山本 昌也	名古屋大学消費生活協同組合 専務理事
副会長・理事	川畑 博昭	愛知県立大学 学長	理事	森 政広	生活協同組合コープあいち 理事長
副会長・理事	小室 尚子	金城学院大学 学長	理事・事務局長	平光 佐知子	愛知県ユニセフ協会 事務局長
理事	岡田 亜弥	名古屋大学大学院研究科 教授	評議員	高井 俊直	愛知県公立高等学校長会 会長
理事	吉野 真史	日本放送協会 名古屋放送局 局長	評議員	都築 孝明	愛知県小中学校長会 会長
理事	小島 浩資	東海テレビ放送株式会社 代表取締役社長	評議員	鈴木 雅雄	社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 会長
理事	田中 康之	東海ラジオ放送株式会社 代表取締役社長	評議員	渡辺 英津子	公益財団法人あいち男女共同参画財団 専務理事
理事	升家 誠司	中部日本放送株式会社 代表取締役社長	評議員	稲葉 健太	ワーカーズコープ・センター事業団 本部長
理事	藤井 達郎	テレビ愛知株式会社 代表取締役社長	評議員	長江 浩幸	南医療生活協同組合 理事長
理事	加藤 義智	株式会社エフエム愛知 代表取締役社長	評議員	森 英一	北医療生活協同組合 理事長
理事	浦出 高史	株式会社 ZIP-FM 代表取締役社長	評議員	森田 幸治	愛知県労働者共済生活協同組合 専務理事
理事	鈴木 孝昌	株式会社中日新聞社 取締役 名古屋本社代表	評議員	棟田 光彦	名古屋工業大学生生活協同組合 専務理事
理事	安場 孝	株式会社朝日新聞社 名古屋本社代表	評議員	外村 順一	金城学院大学生生活協同組合 専務理事
理事	伊藤 一章	カゴメ株式会社 執行役員 名古屋支店長	評議員	中川 明日香	名古屋市立大学生生活協同組合 専務理事
理事	千賀 昭政	コープあいち 虹の会 代表	評議員	中根 正人	愛知県公立大学生生活協同組合 専務理事
理事	清水 貞雄	愛知県労働者福祉協議会 事務局長	評議員	広瀬 一行	オリーブの会 名古屋 会長
理事	浅井 大美子	筈曲千景の会 代表	評議員	中井 恵美	NPO法人子育て支援のNPOまめっこ 理事長
理事	永井 淳	一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟 理事長	監事	内河 恵一	恵沢法律事務所 所長
理事	森 幸子	一般社団法人ガールスカウト愛知県連盟 連盟長	監事	中尾 さゆり	税理士

愛知県ユニセフ協会のHPに「団体賛助会員ご紹介」ページができました！

日本国内での募金活動、広報、国際理解を深める啓発などのユニセフ活動を団体賛助会員として支援いただいている企業・団体様をご紹介するページを新設しました。ページの中の企業・団体様のロゴマークをクリックすると各サイトにジャンプします。是非ご覧ください。▶▶▶▶



愛知県ユニセフ協会パンフレットをリニューアルしました

世界の子どもの状況やユニセフ活動について、これまでのパンフレットがより分かりやすく親しみやすくなりました。英語版も作成予定です。ご希望の方にお渡ししています。お問合せは当協会までお気軽に。▶▶▶▶



団体賛助会員登録いただいた愛知県内の企業・団体のみなさま

愛知県生活協同組合連合会	コーミ株式会社	(2025年1月現在)
愛知県農業協同組合中央会	株式会社昭和	順不同・敬称略
あいち生活協同組合	株式会社ティア	中央製乳株式会社
一宮生活協同組合	株式会社デイリーファーム	テレビ愛知株式会社
イチビキ株式会社	株式会社東海共同印刷	名古屋工業大学生生活協同組合
株式会社	株式会社トーカン	名古屋大学消費生活協同組合
おとう工房いしかわ	トランコム株式会社	株式会社三菱UFJ銀行 星ヶ丘支店
株式会社オリックス自動車リース営業本部東海営業部名古屋支店	北医療生活協同組合	南医療生活協同組合
株式会社クレスト	金城学院大学生生活協同組合	生活クラブ生活協同組合
ジャパンホールディングス	コープあいち虹の会	愛知県労働者福祉協議会
	生活協同組合コープあいち	愛知県労働者共済生活協同組合

賛助会員へのご協力をお願いします

オンラインでも手続きいただけます。



年会費は、日本ユニセフ協会が行う募金活動および広報・アドボカシー（政策提言）活動のほか、愛知県ユニセフ協会をはじめとする日本ユニセフ協会と協定を結ぶ地域組織の運営にも役立てられます。

一般賛助会員（個人の方）…………… 1□5,000円
 学生賛助会員（18歳以上の方）…… 1□2,000円
 団体賛助会員（企業・団体など）… 1□100,000円

2025年1月時点の愛知県ユニセフ協会

一般賛助会員	220名
学生賛助会員	10名
団体賛助会員	28団体
ボランティア登録人数	100名

お気軽にお立ち寄りください！ 愛知県ユニセフ協会

〒464-0824 愛知県名古屋市千種区稲舟通 1-39
 生協生活文化会館 2 階（コープ本山2 階）
 ☎ 052(783)7230 FAX 052(781)7191
 E-mail : aichi@unicef-aichi.jp
<https://www.unicef-aichi.jp/>
 アクセス 地下鉄「本山」駅4番出口より南へ徒歩約2分

